

対象教科・科目	単位数	対象学科・学年・クラス	備考
地理歴史 日本史B	4単位	英語科 2年 2クラス	選択必修履修科目

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	原始から現代に至るまでの我が国の歴史の展開を、世界史的に立ち、我が国を取り巻く国際環境などに関連づけて考察させることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。
使用教科書	詳説日本史B 改訂版 (山川出版社 日B309)
副教材等	

2 学習計画

学期	学習項目	学習の具体的内容
1 学期	第1章 日本文化のあけぼの 1. 文化の始まり 2. 農耕社会の成立 3. 古墳とヤマト政権	<ul style="list-style-type: none"> 日本の歴史の始まりを地理や食生活・文化に注目して理解する。 農耕社会ムラの誕生からクニへと変化し、ヤマト政権が成立していく過程を理解する。
	第2章 律令国家の形成 1. 飛鳥の朝廷 2. 律令国家への道 大化改新/律令国家への道	<ul style="list-style-type: none"> 飛鳥の朝廷での出来事に対する理解を深め、日本国における国家の考え方を考察する。 律令が導入され、法治国家の初期について理解する。
	2. 律令国家への道 白鳳文化/大宝律令と官僚制 /民衆の負担 3. 平城京の時代 4. 天平文化 5. 平安王朝の形成	<ul style="list-style-type: none"> 律令国家における文化や社会的仕組みについて理解する。 平城京への遷都や当時の政治のあり方について理解を深め、文化や生活にふれ、当時の社会について考察する。
2 学期	第3章 貴族政治と国風文化 1. 摂関政治 2. 国風文化 3. 地方政治の展開と武士	<ul style="list-style-type: none"> 貴族政治の成立とその政治体制が実現した社会を考え、人物や出来事に注目しながら、摂関政治について理解する。 元来、大陸からの影響を受けてきた我が国の文化がこの時期において固有の特徴を持ち始める過程をふまえて、理解する。 貴族政治に対して武士が台頭してくる背景について理解をする。
	第4章 中世社会の成立 1. 院政と平氏の台頭 2. 鎌倉幕府の成立 3. 武士の社会 4. 蒙古襲来と幕府の衰退 5. 鎌倉文化	<ul style="list-style-type: none"> 武士が政治の中心になっていく過程をふまえて、院政のあり方を理解する。 貴族政治と鎌倉幕府の違いに注目しながら、歴史の流れを掴む。
	第5章 武家社会の成長 1. 室町幕府の成立 2. 幕府の衰退と庶民の台頭 3. 室町文化 4. 戦国大名の登場	<ul style="list-style-type: none"> 中世武家社会の成熟と幕府の興亡の歴史を理解する。 室町時代の文化や生活様式にも注目しながら、戦国大名が台頭してくる背景を理解する。
3 学期	第6章 幕藩体制の確立 1. 織豊政権 2. 桃山文化 3. 幕藩体制の成立 4. 幕藩社会の構造	<ul style="list-style-type: none"> 織田信長や豊臣秀吉による国家統一事業をふまえて、我が国が一つにまとまりを持ち始める過程を理解する。 幕藩体制のあり方を理解し、当時の社会構造について考察する。
	第7章 幕藩体制の展開 1. 幕政の安定 2. 経済の発展 3. 元禄文化	<ul style="list-style-type: none"> 長きにわたる江戸時代における社会構造の変化や経済の成長など、当時の大衆の生活をふまえて理解する。
3 学期	第8章 幕藩体制の動揺 1. 幕政の改革 2. 宝暦・天明期の文化 3. 幕府の衰退と近代への道 4. 化政文化	<ul style="list-style-type: none"> 幕府、倒幕派、朝廷、外国からの圧力といった様々な観点から江戸時代の終わりを立体的にとらえる。
	第9章 近代国家の成立	<ul style="list-style-type: none"> 明治維新を終えた近代国家の我が国が列強に対してどのような政策を打ち出したのかを中心に、国内の変化も併せて理解する。
	第10章 二つの世界大戦とアジア 第11章 占領下の日本	<ul style="list-style-type: none"> 世界大戦の起こった背景と戦後処理について理解を深め、現代における歴史認識の課題について考え、我が国の外交のあり方を知る。 GHQによる統治によって戦後、もたらされた変化について考え、現代の我が国のあり方について展望する。

3 評価の観点、内容および評価方法

評価の観点および内容	評価方法
関心・意欲・態度	原始から現代に至るまでの我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。
思考・判断・表現	原始から現代に至るまでの我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などに関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。
技能	原始から現代に至るまでの我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。
知識・理解	原始から現代に至るまでの我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立ち、我が国を取り巻く国際環境などに関連付けて理解し、その知識を身に付けている。

